



Press Release

2020年度
小・中学生

「いのち」の 作文コンクール

受賞作品が決定しました！！

コロナ禍のなか、5,766作品ものご応募をいただきました！

公益財団法人JR西日本あんしん社会財団は、「いのち」についての作文を通じて、「いのち」の大切さを考えていただく機会を提供するため、近畿2府4県の小・中学生を対象に「『いのち』の作文コンクール」を開催しました。

コロナ禍での開催となりましたが、大変多くの応募をいただきました。

選考の結果、以下のとおり各賞の受賞作品が決定しましたので、お知らせいたします。なお、表彰式はWEBにて開催します。

☆金賞(4名)

(敬称略)

部門	学校名	学年	名前	題名
小学生1・2年生	大阪市立鴨野小学校	小1	丹羽 郁登	ぼくのたいせつないのち
小学生3・4年生	大阪市立堀川小学校	小4	苅部 孝政	ぼくのかぶと虫
小学生5・6年生	姫路市立津田小学校	小6	玉田 智愛	私の生きた足跡
中学生	奈良県立青翔中学校	中2	小林 大悟	命の重さ

☆銀賞(10名)

☆銅賞(16名)

☆優良賞(78名)

◎金賞の受賞作品は、「別紙1」をご覧ください。

◎銀賞・銅賞・優良賞の受賞作品一覧は、「別紙2」をご覧ください。

◎金賞・銀賞・銅賞の受賞者を対象に、1月24日(日)にWEB(Zoom)にて表彰式を開催します。

◎金賞・銀賞・銅賞の作品の本文については、当財団ホームページにて掲載します。

◎その他:詳しくはJR西日本あんしん社会財団のホームページをご覧ください。

<https://www.jrw-relief-f.or.jp/seminar/sakubun2020/>



金賞受賞作品

「ぼくのたいせつないのち」

大阪市立鷺野小学校 一年 丹羽 郁登

ことしの冬、かぞくで、かきをたべました。口の中に、たねがのこりました。ぼくは、かきが大きすぎです。このたねを、うえたら、かきの実がたくさんできるかな。じぶんでそだてた、かきの実はきっと、とってもおいしいぞとおもい、ベランダのうえ木ばちに、たねをうえました。お母さんは「めなんて、でてこないわよ」といいました。それでも、ぼくは、うえました。

春になつて、お母さんがベランダからぼくをよびました。「めがでてる!」ぼくは、びっくりしてみにいきました。かきのめがでていました。かきのたねのかわをかぶつたかわいいめでした。ぼくは、すごいとおもいました。じぶんで、うえたねがめをだして、うれしかつたです。となりで、お母さんがいいました。「いのちって、すごいね。かきの実はいくくんの体にはいつて、いくくんのいのちになつてくれた。かきのたねは、こうしてめをだして、また、実をつけて、だれかのいのちになるのかもしれないね。このめは、いくくんのそだてたいのちだよ。」ぼくは、早くかきの実を、たべたいとおもいました。かきの木が大きくなつて、たくさんの実をつけたら、じいじやばあばにもあげたいとおもいました。おともだちやかぞくといつしょにたべたいです。ぼくのそだてた、たいせつないのちを、ぼくのたいせつな人たちに、わけてあげたいです。

「安らかにねむれますように。ぼくはカブキのことをわすれないからね。また会いに来るよ。」と言つてうめました。

土の中にはカブキの仲間がいるかもしれません。仲間に出会えてるといいなあと思ひます。ぼくもときどき、その公園にカブキに会いに行つています。カブキは喜んでくれているといいなあ。

「ぼくのかぶと虫」

大阪市立堀川小学校 四年 荘部 孝政

ぼくは二年生の夏、かぶと虫を育てました。おすだつたので、カブキと名前をつけました。
毎朝、ぼくは目が覚めるとカブキを見に行くのですが、その日はカブキの様子がいつもどちらがつっていました。さわつてもびくりともしません。夜の間に死んでしまったのです。ぼくはせつかく大事に育てていたのに死んでしまつて、まるで大切な友達を失つたようなやるせない気持ちになりました。そんなぼくを見て、お父さんが、「ひょう本にしたらどう?」

と聞いてくれたので、ひょう本を作ることにしました。ひょう本にしたらカブキとずっと一緒にいられる、ぼくはそう思いました。

ぼくは早速ひょう本作りを始めました。まずは固まつたカブキの体をえきにつけ、そつと足をひろげました。ひょう本にしてカブキはよるこぶかなあ、とまよいながら手を動かしていました。カブキをそのままの形で残すためにも、ぼくはかわいそうで出来ませんでした。まだたましいは、カブキを虫ピンでさして固定しなければなりません。でも、ぼくはかわいそうで出来ませんでした。まだたましいは残つていていたからです。もし、たましいが残つてしまふつうの人では想像もできないくらいつらくて、しんどい治療ようです。それでも私は絶対に病気に負けたくありませんでした。私の母は「あきらめたらそこで試合終了」とよく言います。だから「あかん、今ここであきらめたら元気になつてみんなと遊べない」という思いがずっとあり、頭の中で自分が頑張れるように思つていたのを本当にかすかですが、うつすらと覚えていています。家族も先生もたくさん応えんしてくれました。

私は病気になつたことよりも、つらい抗がん剤治りようを受けたことよりも一番いやだったことがあります。それは、年に一度しかない誕生日が一年続けて手術になつたことです。正直、しないといけないと分かつていても一年に一回しかない誕生日になぜ辛いことをしないといけないんだろうと思いました。ふつうならケーキを食べてみんな

「私の生きた足跡」

姫路市立津田小学校 六年 玉田 智愛

私にとつての生きた証は、お腹にある大きなきずあとです。これは、私が病気とたたかつた証でもあります。でも、プールや学校行事でおふろに入るとき、友達にこのきずを見せるところには少し抵抗があります。それでも、私はこのきずがないと生きていなかつたからこのきずがとつても大好きです。

私は三才の時に「小児がん」と診断されました。病気になつて今年で八年が経ちました。それでも、まだ病気とたかわないと生きていなかつたからこのきずがとつても大好きです。そのためあまり覚えていませんが、家族がそのときの話を、たくさんしてくれます。

病気が分かつたとき、がん細胞が大きすぎてすぐに手術できず、抗がん剤治りようをすることになりました。その副作用はとてもすぐ吐き気がしたりかみの毛もぬけ、全然ご飯が食べられなくなりました。月日がたち、やつと手術ができるようになり、初めての手術は12時間程度かかつたそうです。そして、またあのつらい抗がん剤治りようが始まりました。

ふつうの人では想像もできないくらいつらくて、しんどい治療ようです。それでも私は絶対に病気に負けたくありませんでした。私の母は「あきらめたらそこで試合終了」とよく言います。だから「あかん、今ここであきらめたら元気になつてみんなと遊べない」という思いがずっとあり、頭の中で自分が頑張れるように思つていたのを本当にかすかですが、うつすらと覚えていています。家族も先生もたくさん応えんしてくれました。

でお祝いする日なのになんでも私だけ…とも思いました。でも

今なら分かります。あのとき、こんな思いをして頑張ったからこそ、今生きられているということを。少しずつみんなと同じように学校に行って遊ぶことができるということ。

小児がんという病気になつて、つらいことやいやなこと、お腹に大きな傷も残つたけど、学んだこともたくさんあります。私は、小児がんになつたけど、今は生きることが楽しくて、とつても幸せです。

「命の重さ」

奈良県立青翔中学校 二年 小林 大悟

始まりは店で買つてきた一個の卵だった。重さは五十g。何の変哲もない一個の卵、これをふ卵器に入れる。ふ卵器

のふたはいつも曇つていて、中は見えにくい。けれどその中で僕たちと同じ一つの命が、じわじわとはぐくまれている。

有精卵を割る時、そして混ぜるとき、命を食べているんだ、といつも思う。

約三週間後、ヒヨコが殻を破つて産声をあげる。殻に穴を開け、小さな口をのぞかせヒヨヒヨと一生懸命息をし始めるべく、僕はいつもじきじきする。

二、三日すると羽も乾いて黄色や茶色のも「も」のかたまりになる。これがコケツと鳴きながら庭を駆け回る「鶏」になるのだからおもしろい。

その成長は驚くほど早い。一瞬目をはなしてから見返すと、一まわり大きくなっている気がする。大騒ぎの中、餌の世話、糞の処理、水の世話をして十六週間でメスは「初卵」を産む。初卵は小さいが、ずつしりと重い。手のひらにのせると輝いてさえ見える。

オスは名前をつけない。朝早くに大声で鳴き始め、メスにとびかかるようになると、僕たちは丸焼きから揚げかの算段を始める。昔ほどの家も鶏を飼つていて、人が来る

ときばいでふるまつたものだ、と祖父が言う。

こうして残つたメスたちが毎日一個ずつ卵を産む。その数六羽、中雛たちが八羽。これから楽しみたのしみ。

メスたちは卵を産まなくなつても飼い続ける「家族」なので、名前が必要だ。最初の二羽はボリスブラウンにしては薄い色の、ちょうどカフエオレのような色合いだったのです、「オレ」と呼ぶことになった。もう少し濃い方が「モカ」。今いる鶏の中の最年長になる。

少しモカの話をしよう。

モカはとても賢い鶏だつた。オレは元気で食いしん坊。モカは何か怪しいもの、ヘビや猫が現れたら、必ず僕たちに知らせた。

放鳥しても、夕方オレンジ色が山に向こうに消えるころには、必ず自分で小屋にもどつていた。でもモカはもういない。朝みたら六羽のうちモカだけがいなかつた。

ある日の夕方、放鳥していた鶏たちを小屋に仕舞つた。家人はみな買い物に出かけ、僕の仕事だつた。

いつものようにみな小屋かその周りに集まつていて、仕舞うのは簡単だつた。いつも一番最後まで外で遊びたがる若い「ソルベ」をつかまえて、扉を閉めて網をかけた。僕は、全員の数を数えなかつた。この時からもうすでにモカはいなかつたのかもしれない。それか、夜のうちに野生動物が忍びこんで、モカだけ連れ去つたのかも。網は破れていないし、羽も飛び散つていない。

僕の責任だ。僕が確かめなかつたからだ。

大事に卵から見守つてきた子が、夜の闇の中で悲鳴をあげていたかもしない。何か悪いものが、モカを引き裂いたかもしれない。もつとよく確かめていれば・・・。

何か月たつても、モカのことはあきらめきれない。朝も昼も夜も、窓の向こうの田んぼや森を眺めては、小さな姿が走つて来はしないかと思つてゐる。コトツと音がすれば飛び起きて、確かめもした。

「モカなの？」

でも違つた。モカは帰つて来なかつた。一度野良の鶏がいると聞いて見に行つたが、モカではなかつた。だれか人間につかまつて、そこでご飯と水をもらえていればいいのにとも思つた。または賢いモカのことだから、山の王のようないいキジかなにかの妻になつて子孫を増やしているかも知れないと思つた。

僕の手のひらに乗つていた小さな卵は、二kgの立派な命になり、家族として毎日抱つこして可愛がつた。でも、お別れは唐突だ。

僕の心にも大きな埋まらない穴が開いた。命を扱うには覚悟が必要なのだろう。

☆金賞（4名）

(敬称略)

府 県	学 校 名	学 年	氏 名	題 名
大阪府	大阪市立鷺野小学校	小1	丹羽 郁登	ぼくのたいせつないのち
大阪府	大阪市立堀川小学校	小4	苅部 孝政	ぼくのかぶと虫
兵庫県	姫路市立津田小学校	小6	玉田 智愛	私の生きた足跡
奈良県	奈良県立青翔中学校	中2	小林 大悟	命の重さ

☆銀賞（10名）

府 県	学 校 名	学 年	氏 名	題 名
兵庫県	私立甲南小学校	小2	村松 謙	「いのち」ってなんだろう
和歌山県	私立智辯学園和歌山小学校	小2	川久保 紗乃	わたしにとつての「いのち」
兵庫県	宝塚市立宝塚小学校	小5	武田 奈々	終わらない「いのち」
京都府	京都市立下鴨小学校	小6	田嶋 葵	自分のために生きる
兵庫県	私立小林聖心女子学院中学校	中2	大原 知紘	ヘアドネーションをしました！
奈良県	奈良市立富雄南中学校	中2	松谷 周香	自分ができる事
奈良県	河合町立河合第二中学校	中2	伊藤 由真	まみちゃんの夏
和歌山県	有田川町立八幡中学校	中2	今西 美里	後悔
滋賀県	私立近江兄弟社中学校	中3	岡崎 真心	命のストーリー
和歌山県	和歌山県立田辺中学校	中3	染道 琉花	私の自慢のお母さん

☆銅賞（16名）

府 県	学 校 名	学 年	氏 名	題 名
和歌山県	私立智辯学園和歌山小学校	小2	千丸 泰芽	どんぐりのなえ
和歌山県	私立智辯学園和歌山小学校	小2	中本 瑞楓	まんまる
兵庫県	西宮市立南甲子園小学校	小3	大恵 朱実	命があるきせき
兵庫県	私立甲南小学校	小4	井野上 碧泉	明子さんの命の音色から
和歌山県	私立智辯学園和歌山小学校	小4	成川 愛珠	おじいちゃんの命
大阪府	大阪府立大阪北視覚支援学校	小6	大坂 ひなた	生きのびるということ
大阪府	堺市立長尾中学校	中1	大石 美空	入院を通して考えた「いのち」
大阪府	私立箕面自由学園中学校	中1	櫻井 美羽	強くて脆い命
兵庫県	神戸市立鷹取中学校	中1	榎原 亜衣	忘れない。いつまでも・・・
京都府	京都市立久世中学校	中2	角村 桃奈	小さな命から考えたこと
京都府	京都市立修学院中学校	中2	酒枝 蒼空	リードの命
京都府	京都市立双ヶ丘中学校	中2	大橋 梨沙	生命の物語
兵庫県	私立関西学院中学部	中2	三木 煌太	タガメが教えてくれた命
兵庫県	私立小林聖心女子学院中学校	中2	鈴木 媛紗	その日は、突然やってきた
京都府	京都市立向島東中学校	中3	中西 創志郎	機械のいのち
大阪府	大阪教育大学附属池田中学校	中3	中村 咲陽	飛べない蝉

☆優良賞 (78名)

府 県	学 校 名	学 年	氏 名	題 名
滋賀県	草津市立老上西小学校	小6	籐内 梨琴	私と命
滋賀県	大津市立石山中学校	中1	村上 佳帆	弟の生まれた日
滋賀県	大津市立北大路中学校	中1	紺田 韶	命の価値観
滋賀県	大津市立北大路中学校	中1	宮越 花南	私にとっての「いのち」
滋賀県	竜王町立竜王中学校	中1	猫田 紗瑛	命へありがとう
滋賀県	大津市立石山中学校	中2	中村 瞳仁	受け継がれてきた自分の命
滋賀県	彦根市立中央中学校	中2	松村 朋果	命の音
滋賀県	東近江市立聖徳中学校	中3	藤川 優月	いのちの光
滋賀県	竜王町立竜王中学校	中3	諸田 大晴	平和といのち
京都府	京都市立岩倉北小学校	小3	尹 智湖	命
京都府	京都市立太秦小学校	小3	長谷川 詩亜	「いのち」について
京都府	私立京都女子大学附属小学校	小3	小峯 れいあ	命をいただくこと
京都府	京都市立新町小学校	小4	ロー ナタリー	太陽よりも温かい「命」
京都府	京都市立仁和小学校	小5	石倉 里桜	命
京都府	精華町立精華台小学校	小5	藤田 愛実	妹が教えてくれた、かけがえのない命
京都府	京都市立南陽高等学校附属中学校	中1	大森 志穂	いのちはほうき星
京都府	京都市立久世中学校	中1	丹光 心遙	たった一つのいのち
京都府	京都市立双ヶ丘中学校	中2	森 奈那	ねえ、今天国で幸せ?
京都府	京都市立双ヶ丘中学校	中3	宮本 紗有	青い鳥になりたい
大阪府	大阪市立槇並小学校	小1	久保毛 涼太	いのちのながさ
大阪府	私立関西創価小学校	小2	福田 幸恵	ミニトマトのいのち
大阪府	大阪市立苅田北小学校	小3	藤田 徠那	守るいのち、守られるいのち
大阪府	大阪市立平野小学校	小4	辻野 陽花	「命の大切さを知った食べ物」
大阪府	大阪市立矢田東小学校	小4	岩成 純	命
大阪府	私立関西創価小学校	小5	池田 冠都	ホタルと命
大阪府	私立城星学園小学校	小5	申 莉寧	世界の飢餓をなくすには
大阪府	大阪市立玉川小学校	小6	村上 唯生	生きる意味
大阪府	私立大阪YMCAインターナショナルスクール	小6	吳 潤希	命のろうそく
大阪府	堺市立長尾中学校	中1	杉山 央音	忘れられない命
大阪府	堺市立浜寺南中学校	中1	笠倉 愛唯	天国と繋ぐ透明の糸
大阪府	私立箕面自由学園中学校	中1	細川 あい	虹の橋
大阪府	枚方市立枚方中学校	中2	三上 千鶴	頂きます
大阪府	八尾市立龜井中学校	中2	阪本 和音	今、ここにいるということ
大阪府	八尾市立龜井中学校	中2	高島 実蘭	手紙
大阪府	八尾市立龜井中学校	中2	辻井 凜	生きがい
大阪府	八尾市立龜井中学校	中2	松永 月彩	分からぬ未来
大阪府	八尾市立龜井中学校	中2	宮之原 泋	教えてくれたもの
大阪府	大阪府立箕面支援学校	中2	柳井 美緒	自分の人生は自分で切り開こう!!
大阪府	東大阪市立孔舎衙中学校	中2	寺内 ちほ菜	諦めるまでは終わっていない
大阪府	東大阪市立孔舎衙中学校	中2	宮田 里彩	目に見えないもの
大阪府	大阪教育大学附属池田中学校	中3	田中 莉穂	いのちの意味
大阪府	大阪市立平野北中学校	中3	川田 優花	生きる意味
大阪府	吹田市立第一中学校	中3	篠原 里奈	涙が出る日

府 県	学 校 名	学 年	氏 名	題 名
大阪府	八尾市立亀井中学校	中3	宮本 美憂	生きている「いのち」
兵庫県	神戸市立こうべ小学校	小3	榎本 阿紋	いのちについて
兵庫県	神戸市立湊小学校	小3	田原 和花	いのちの作文コンクール
兵庫県	加古川市立氷丘小学校	小3	豊田 美咲	一人一つかけがえのないいのち
兵庫県	神戸市立福池小学校	小4	佐野 純音	ロボットと人
兵庫県	神戸市立福池小学校	小4	寶角 太一	ぼくの大好きなおばあちゃん
兵庫県	加古川市立氷丘小学校	小4	宮本 壱	「命」について
兵庫県	川西市立緑台中学校	中1	角南 美和	生きている意味
兵庫県	私立関西学院中学部	中1	藤本 恵汰	命の尊さ・大切さ
兵庫県	私立小林聖心女子学院中学校	中1	神谷 彩	窮屈で自由な世界
兵庫県	私立夙川中学校	中1	石田 伊知香	キョーダイ
兵庫県	私立夙川中学校	中1	伊東 澄央	セミの一生
兵庫県	私立夙川中学校	中1	大西 彩菜	私の大切な命
兵庫県	私立夙川中学校	中1	後藤 楓華	小さな幸せ
兵庫県	私立百合学院中学校	中1	井本 千暖	人のぬくもり
兵庫県	尼崎市立小園中学校	中2	多々美 陽菜	死があるから、生が輝く
兵庫県	川西市立緑台中学校	中2	岸本 玲音	一人の兄が世界を変える
兵庫県	小野市立小野南中学校	中2	高田 友愛	入院の経験
兵庫県	私立関西学院中学部	中2	馬場 玲娃	残りの時間
兵庫県	私立小林聖心女子学院中学校	中2	木浦 衣央	人の命は地球より重い
兵庫県	私立小林聖心女子学院中学校	中2	中脇 あかり	失ってから学ぶ命の尊さ
兵庫県	神戸市立港島学園中学部	中3	香西 万桜	“自殺”について
兵庫県	姫路市立大津中学校	中3	小林 泉水	私のいのちは私のもの?
兵庫県	姫路市立東光中学校	中3	森 美翠	命の生き方
奈良県	私立近畿大学附属小学校	小1	田邊 愛李	わたしのたからもの
奈良県	香芝市立香芝東中学校	中1	葉村 羽月	雪山の「いのち」たち
奈良県	私立帝塚山中学校	中1	河波 慶汰郎	「生」も「死」も「いのち」
奈良県	奈良県立青翔中学校	中3	吉井 ほのか	生きていく
奈良県	大和郡山市立郡山西中学校	中3	藤森 美花	「いのち」の源
奈良県	斑鳩町立斑鳩中学校	中3	米倉 京香	生きる意味
奈良県	明日香村立聖徳中学校	中3	関本 希実	天国のお兄ちゃん
和歌山県	私立智辯学園和歌山小学校	小2	宮本 旬	はせ川さんとどくへビ
和歌山県	和歌山市立川永小学校	小5	小原 海音	いのち
和歌山県	和歌山県立田辺中学校	中3	村上 実咲	いのち
和歌山県	田辺市立衣笠中学校	中3	野崎 心々呂	たった一人の